

平成27年度データヘルス計画について (上期実施状況と下期施策)

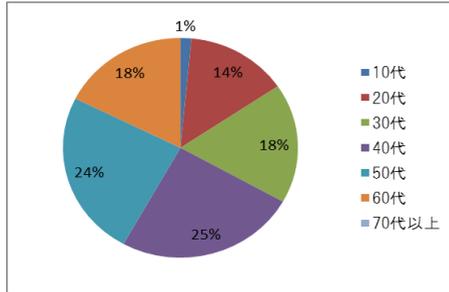
平成27年度データヘルス計画

- 目標**
- ①H24年度比で健診リスク保有率6項目について減少させる。
 - ②被扶養者の特定健診受診率をH29年度末に39%とする。(H26年度末16.7%)

項目	上期の取組	下期の施策
1.被保険者健診受診率の向上	○新規機関との継続交渉(11機関)	○3機関と新規契約締結 ○H28年度健診機関拡大に向けた方策作成 ○H28年度事業者健診データ勧奨の方策作成
2.被扶養者健診受診率の向上	○イオン桂川周辺の方への個別勧奨 ○9/30に下期集団健診日程の受診勧奨	○集団健診での付加サービス提供(血管年齢測定)【2月】 ○H28年度に向けた無料健診・ミニドック健診扱い機関の募集 ○H28年度の方策作成
3.保健指導受入事業所の拡大	○保健師等の退職、システム刷新後の不具合が多く、拡大策を取れず。	○初回面談訪問数の拡大 ○H28年度に向けた地域割での外部委託方策を作成
4.糖尿病性腎症重症化予防事業	○健診と治療とが同一機関の対象者が少なく、方策の見直しを検討することとする。	○要治療・要精密検査対象者への受診勧奨時に重症化予防を勧める方策を作成
5.健康経営の推進	○健康経営をテーマにしたマンガを広報誌に連載開始(全4話 H27年9月～H27年12月)	○H27年11月にセミナー開催 「生き抜く力は、従業員の健康にあり ～健康経営とストレスチェックの実践を～」
6.ヘルスコミュニケーションツール	○14事業所に対して、血管年齢測定機・血圧計を貸出(アンケート結果は次頁) ○出前健康講座	○貸出対象事業所数を拡大する。(60超) ○事業所健康度診断を広報・提供し、事業所における健康づくりを提案する。
7.事業所・業界団体自治体への働きかけ		○地域別健診受診率、業界別健診リスク等をもとに、訪問対象事業所・団体を検討

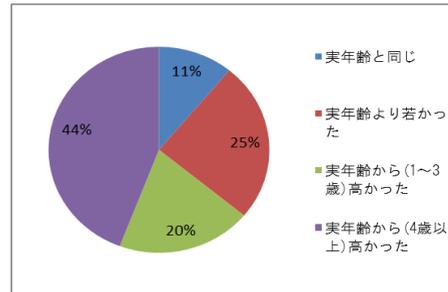
血管年齢測定機アンケート結果 (総数14社 539人)

1. あなたの年齢は？



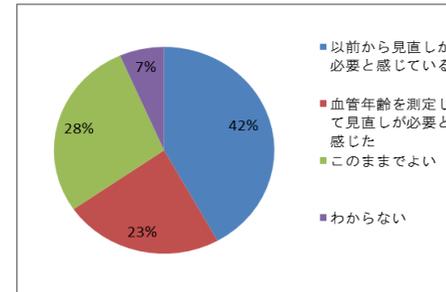
測定者の半数が、40～50代である。

2. 血管年齢測定の結果は？



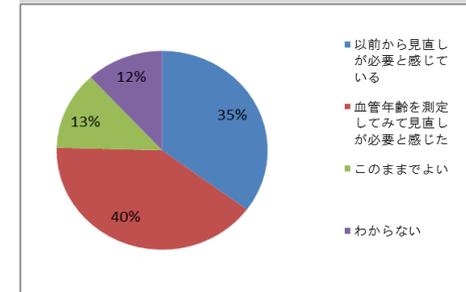
実年齢より4歳以上高い人が4割強

3. ご自身の生活習慣についてどう思っていますか？



見直しが必要と感じている人が6割強

測定結果が「実年齢から(4歳以上)高かった」人の問3の回答



測定後に見直しが必要と感じた人が4割

アンケート結果の特徴

- ・回答者(測定者)の年齢は、40代、50代が多く、合計すると約50%となる。
- ・全体の42%が、生活習慣について、以前から見直しが必要であると感じており、健康に対する関心がある程度高いことが窺える。
- ・測定後に、生活習慣の見直しが必要と感じたのは、全体の23%であるが、測定結果が実年齢より4歳以上高かった層では、40%となっており、測定が生活習慣見直しのきっかけになったと考えられる。

事業所担当者の声

- ・社員の健康管理に対する意識向上に大変効果があった。
- ・血管年齢を測定して生活習慣見直しの必要性を感じた人が多かった。
- ・従業員の積極的な行動を見て、血圧測定器の設置を検討している。
- ・血管年齢測定機のレンタルを来年もお願いします。